

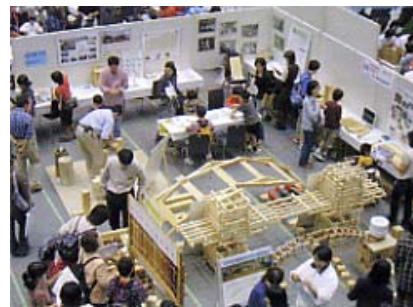
報 告

- ◎ [2004東京国際木工機械展に参加](#)
- ◎ [つくば科学フェスティバル2004へ参加](#)
- ◎ [アグリビジネス創出フェアに出展](#)

◎2004東京国際木工機械展に参加
去る9月22日（水）～25日（土）の4日間、東京国際展示場（東京ビックサイト）西ホールで開催された2004東京国際木工機械展（日本木工機械協同組合主催）に参加しました。このイベントは、偶数年に東京で開催されるもので、今回会期中には主催者発表で18,110人の来場者がありました。
当所は1994年から参加（今回で6回目）しており、研究成果パネルや古民家構造物調査を行ったビデオ等を紹介し、来場者からは熱心な質問が寄せられました。



◎つくば科学フェスティバル2004へ参加
つくば科学フェスティバルが今年もつくばカピオ（つくば市）で開催されました。このフェスティバルは、つくば市内に多数進出している他業種にわたる研究機関や民間研究所、大学などの科学技術最先端都市としての可能性を活かして、子供達に科学技術に対する夢や希望、必要性等の関心を与えることを目的としています。当初10月9日（土）、10日（日）の2日間の開催が予定されていましたが、台風22号の影響により10日のみの開催となりました。
当所は、開催第1回目から参加しており今回で9回目の参加となります。今年は「木を見て、触って、遊ぼう」をテーマに、釘や接着剤を使わずに木の棒を組み立てて木橋の模型を作ったり、大きな木製パズルやいろいろな樹種で作った木琴などを展示しました。1日だけの開催となりましたが多くの方にお立ちいただきいろいろな木を見て、触って、遊んでいたいただきました。



◎アグリビジネス創出フェアに出展
農林水産省ほか当所を含む8つの独立行政法人の主催で、10月14日（木）、15日（金）の両日、アグリビジネス創出フェアが東京国際フォーラム展示ホールで開催されました。開会式では、西川農林水産技術会議事務局長から、本フェアは初めての大きな試みであり、研究成果の発信と事業化の場として活用されることを期待する旨の挨拶がありました。事務局である（社）農林水産先端技術産業振興センターの畑中理事からは、成果を外に向けて積極的に売り込んで欲しいとの挨拶がありました。
出展団体は、大学、独立行政法人、企業、高等学校から62件に登りました。当所は、接着剤の加水分解によるボード類のリサイクル利用（秦野恭典）、栽培きこオオオオ化判定法の開発（馬替由美）、天敵昆虫サビマダラオオオオホソカタムシの利用（小倉信夫）、除湿膜技術で環境配慮した快適な住まいを（平林靖彦）、樹幹揺動測定器（樹木等の揺れを測定する）の開発（吉武孝）、当所との共同研究の成果である厚物合板（ネダノン）の6テーマで出展を行いました。研究内容を来訪者に直にアピールするプレゼンテーションステージが設けられ、秦野がボード類のリサイクル利用技術について発表しました。当所のブースに寄って下さった方々からは、森林、環境、木材に対する高い関心が感じられました。なお、来場者は2日間で3千人余りでした。本フェアは、来年も開催する予定ですので、皆様のお越しをお待ち致します。

